

議会改革・活性化調査特別委員会記録【概要】

1 日 時 令和6年6月3日（月曜日）

午前 9時58分 開 会

午前 10時34分 閉 会

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員

委員長	伊 藤 優 子	副委員長	神 野 恭 多
委 員	片 平 恵 美	委 員	黒 田 真 徳
委 員	合 田 晋一郎	委 員	藤 田 誠 一
委 員	山 本 健十郎	委 員	高 塚 広 義
委 員	伊 藤 謙 司	委 員	大 條 雅 久

4 欠席委員 な し

5 説明のため出席した者 な し

6 議会事務局職員出席者 局 長 山 本 知 輝 課 長 徳 永 易 丈
副課長 鴨 田 優 子 係 長 伊 藤 博 徳
係 長 村 上 佳 史

7 その他出席議員 委員外議員 伊 藤 嘉 秀

8 本日の会議に付した事件 (1) 議会改革・活性化に関する調査

9 概 要

（委員長）本日の委員会は、議会の広報広聴に関することについてご協議いただく。検討項目のうちの、市議会だよりの一般質問要約掲載について。資料の市議会だよりを見ていただきたい。令和5年9月市議会定例会の一般質問の掲載内容である。

現状は、市議会だよりの編集に関する申し合わせに基づき、3月号、6月号、9月号、12月号に、すべての質問者の質問通告要旨と、質問時間30分及び40分の質問者の質問内容と答弁内容を2項目以内で掲載している。今回、質問時間が30分未満の質問者についても、質問内容と答弁内容を掲載してはどうかということで検討項目となっている。協議に入る前に、まず、一般質問の掲載について、これまでの経緯等について、事務局から説明する。

(議事課長) 市議会だよりでの一般質問の掲載の経緯について説明する。別紙1を見ていただきたい。こちらが平成30年2月5日の議会運営委員会において決定された現行の市議会だよりの編集に関する申し合わせである。赤でアンダーラインを引いている部分が、掲載に係る一般質問の質問時間、項目数、字数の取り決めである。

次に、別紙2を見ていただきたい。これまでの経緯であるが、市議会だよりは、平成26年4月号の市政だよりから掲載を開始し、掲載の頻度については、年間を通して毎月、議会情報を市民の皆様にお知らせしていくということで、各月のページ割りを決めて掲載することとし、現在に至っている。

一般質問の内容掲載については、当初は質問通告要旨のみとし、当該定例会の議決結果と合わせて4ページで掲載していたが、表の2段目、平成28年の9月号から、内容の充実を図るため、一般質問の答弁内容も掲載することとし、掲載スペースについては、1ページ4段のうち、一人1段分を目安とし、1段の半分のスペースを質問内容140字程度、残り半分に答弁内容を掲載し、質問通告要旨、質問内容、答弁内容と次期定例会の会議日程を合わせて4ページで掲載することとなった。

掲載月については、質問内容と答弁内容掲載により紙面作成に時間を要することになったため、これまで定例会開催2か月後の号に掲載していたものを、定例会開催3か月後の号に掲載することとなった。

その後、表の3段目、平成29年12月14日の議会運営委員会において、30分、40分の質問を行う議員と10分、20分の議員で、掲載内容が同じ1項目というのはどうなのかということで、質問時間によって答弁の掲載項目数を変えることについて協議を行い、その結果、30分以上は2項目、20分以下は1項目とし、1質問内容140字であったものを半分の70字としてスペースを確保し、平成29年12月議会分を試しに作成することが決定された。

そのあと、一番下の段であるが、実際に作成してみたところ、4ページの枠で全員の掲載ができないため、20分以下は質問通告要旨のみとし、30分以上は2項目以内、1質問内容140字以内で掲載することとなり、このことが現行の申し合わせとして決定されている。

一般質問掲載に係るページ数は4ページでということについては、今説明した、これまでの議会運営委員会での掲載内容の協議の中で、市政だよりの中に占める市議会だよりのページ数をこれ以上増やすのは全体のバランス的にどうなのかというような意見があり、その部分は委員の皆様が同じ認識のもと、限られたページ数、4ページの枠の中で、どのように掲載するのかということについて協議が進められてきた。以上がこれまでの経緯である。

仮に4ページの枠で全ての質問者の質問・答弁内容を掲載する場合、30分以上は2項目、30分未満は1項目とした場合についてであるが、1質問内容の字数を70字からさらに絞って50字前後とし、質問の要旨は全てを掲載せず、答弁を載せるもののみ掲載するようにするとしたら掲載が可能であるので、これも一つの案として検討していただきたい。

(委員長) それでは、協議に入る。ただいま、事務局から説明があったが、ページ数については、

4ページの中でどのように掲載するかご協議いただきたい。それでは、皆さんから意見を願います。

(委員) 会派で話をした。結論から言うと今のままでいいのではないかと。これは、私の意見だが、事務局からは今の文字数をもっと減らしてということだが、そうすると表現のしようがないと思うので、物理的に無理ではないかと思う。で、4ページ以上にすると経費的なものが見ただけでも倍かかると思うので、4ページから8ページにするのは予算の面からもどうかと思うので、自民クラブとしてはこのままでいいと思う。

(委員) 質問だが、ページを増やすとどれくらい経費がプラスになるのか。

(議事課長) ページ数を増やすときのページ数だが、仮に2ページ増とした場合、年間で約30万円の増となる。

(委員) 昔のことを言っただけとはいけないが、議会だよりを出すように進めていたが、結局は中止になった。議会だよりを出す予定が出さなくなって、今、2ページ増やしたら30万円だね。市政だよりのページ数を増やさないと別だけ、増やすなら30分未満の人も1問くらい。今、30分以上の人は2問で答弁を載せているよね。2ページあったら、30分未満の人も1問くらい載せられるのではないかと思う。

(委員長) 2ページ増やすことはできるの。

(議事課長) できる。

(委員) 市政だよりも行政のほうは、ページ数を増やすことについて、予算は別にして、問題はないの。

(議事課長) シティプロモーション推進課に、市政だよりのページ数について過去に問い合わせをしたが、昨年で言うと市政だよりの総ページ数が表紙をのけて平均31ページになっている。それに加えて議会だよりのページ数を増やすとなると全体のボリュームが膨らむということになり、市政だより全体としてはシティプロモーション推進課では、現状以上増やすことは難しいのではないかという考えを持っているということである。

(委員) 昨年度予算を220万円削減しているよね。全体的な行政の予算が難しくなっていると言うが。それくらいはやれないことなないと思う。できるのであれば、20分の方も10分の方も載せたらいいのではないかと思う。

(委員) 確認だが、質問があるときが4ページで、質問がない時は4ページではないのか。

(議事課長) 市議会だよりについては、一般質問の内容を掲載する4定例会分は4ページ、それ以外の月については、1、2、3ページの月がある。最大で、一般質問を掲載する月が4ページとなっている。

(委員) 会派で話したが、4ページというのが限定であれば、この中でどのようにしていくかという話になるが、質問要旨を全部載せているのを減らして答弁にという話になったときに、非常に大変な作業になると思う。市政だよりを見ていたら、一般質問以外にも二次元コードをいっぱい使っている。例えば、各個人の下に二次元コードを入れて、見たい議員のところにとんでいけるようにするのも検討したらいいのではないかと思う。

(委員) 20分とか10分の質問の人の質問に対しても市民が関心を寄せてくれているというのがあります。質問の内容や理事者の答弁がどういうものだったかというのをなぜ議会だよりに載せないのという声を市民の方からお伺いする。A4、1枚をプラスすることになると思うが、年間30万円の経費でできるということであれば、ページ数を増やして20分未満の方も質問、答弁を載せることを検討すべきではないかと思う。

(委員) 会派で話し合いをした。結論としては、質問した方全員の要約を載せることが望ましいということになった。予算の兼ね合いなどあるが、10分でも思いのこもった質問をしていて、我々の会派でも10分の人があるので、現在2項目載せている人も1項目にするなど工夫をして、質問した方全員の分を掲載できればと考える。

(委員) 現状は、あくまでも市政だよりの中に議会だよりが間借りして、議会での議論に関心を持っていただく導入部でしかないと思う。過去、とん挫した議会だよりを本来は目指すべきではないかという思いがあるのと同時に、現況でいうと議会でどんな質問があってどんな答弁があったかはすべてホームページに出ている。だから、二次元コードを付けることによって、新居浜市議会のホームページに掲載している議事録に入っただけなのが本来じゃないかと思う。要約して140字もどうやって書こうと悩んだことは何度もある。答弁も同じだと思う。答弁にしても結局さわりしか書けない。本来何ががあったかは議事録を読むべきで、いかに市民の方に本会議場に来ていただきたいが、どういう議論があったかを議事録であたっただけの方が間違いがないと思う。4ページが6ページになっても呼び水の導入部でしかないように思う。現在ホームページに全文質問答弁が掲載されているのでそちらを見ていただくというふうに導入するのが現実的ではないか。予算の話も出たが、好きなだけ使ってもいいというわけにはいかないのは議会に限らず、市全体の問題なので、そちらの工夫をした方がいいのではないかと思う。

(委員長) 二次元コードは可能か。

(議会事務局長) スペースの部分も含めて、技術的にはもちろん可能だと思うが、二次元コードの作成等を踏まえよくよく検討する。

(委員長) 二次元コードも含めて検討する。

(委員) 現状は市政だよりの中に議会だよりを載せている。こういう状態で市民がさらっと見たときの話だから。それは、いろいろなことができるし、議事録に飛ぶこともできる。市政だよりをさらっと見たときの話だから。市政だよりをサラッと見たときに質問項目だけしかない、30分以上の人しか質問答弁がない、そういうことに対して違和感があってこういう話になったのだと思う。できたら議会だよりを出したらいいと思うが、今の時点ですぐにそういうことにはならないと思う。この状況で2ページ増やしたら、今言っていることができるのならいい。ただ、このままの状況で30分以下の人の質問答弁を載せたら、質問要旨をのけないといけなくなる、それはいけない。だから、2ページ増やして取り組めばいいと思う。

(委員) ページ数に関してはできる限りという思いもわかるし、そういう思いも持ってきたが、今日の議論の中でヒントになったのだが、質問の要約をするのも答弁を要約するのも危ういという思いは持ってきた。前提の議論がないのにこういう発言をするのは失礼かもしれないが、全部質問項

目のみにして質問答弁はすべて二次元コードで全文が読めるように、二次元コードをどう掲載するかということ考えた方がいいのではないかと。平均30ページを超える市政だよりのボリューム事態に関する増やすことに対するいかなものかという担当課からの返事もあったそうでなので、今の時代に合わせてスマートになおかつ全文がわかるように、市民の方に議会の議論の全文にアクセスしていただくというふうに、方向づけるのはいかがかなと思う。

(委員) 議論を聞いていると誰のための議会だよりかなというのを凄く感じるが、わたしもちろん全文みなさんに読んでもらえたらいいと思うが、現実的に開いても絶対読まない、あの長さの文章を。もし、二次元コードに移るのであれば、全員項目だけ載せて、とんで、とんだ先で、全ての要約が読めるようにするのであれば、一番市民のためになるのではないかなと思うが、そうなる質問要約に対する回答をすべてに対して作らないといけないという職員の負担増になるので、そのあたりも含めて議論すべきではないかなと思った。

(委員) ページ数を増やすというのは基本的に議会改革なので、今、自治会員数も減っている、市政だよりを読む人も大事だと思う。自治会に入っていない若い世代が市政だよりを楽しみにして毎月見に行くというのは息子でも絶対はないと思う。ただ、ラインで今日は新居浜市で何があるとかいうお知らせが来たら一回は見るから。今日の朝、6月に議会がある、とお知らせが来た時に、今回質問する人の目玉質問は何かとか。そういう今の時代に応じた、市議会議員になりたいと言ったらおかしいが、市議会議員にあこがれるとか、あの人やってるねということになれば、傍聴できるとかいうことがわかるので、今回の質問者は以下のとおりだと。質問通告が出たら、目玉の項目を赤にするとか、議会改革イコールデジタルだと思う。アナログを増やすとかじゃなくて。アナログは現状のまま残すか減らすか。地域の先輩もそれを楽しみにしている人もいるので、それは見ってもらって。それから、今からの若い人たちがスマホを見たときに今回新居浜おもしろいね、今回誰々さんはこういうことをするらしいよ、とかそういうのを見て興味をもってもらいたいと思う。わたしは、二次元コードを、まるまるホームページにとんで全部見ろというのじゃなくて、30分未満の人が自分の欄のところに自分で要約したのを載せるようにするほうが、興味も沸くしいと思う。地域の人は議会だよりが楽しい、若い人はラインからウェブで見るのが楽しい、そういう方向に行ってほしいと思う。

(委員) 項目だけ掲載して、そこから二次元コードで飛ぶようにという意見について、例えば教育行政についてとか消防行政についてという項目があって、ここ何だろうと思って見に行くという人はあまりいないんじゃないかなと思う。こういう要約の掲載の中で、離婚後の子供の支援についてで、こういう問いがあった、こういう答弁があった、これを見て初めてもうちょっと詳しく知りたいなというふうに思うのかなと思う。だから項目だけを掲載しても、市政運営についてとか言われてもなかなか興味がわかないかなと思う。ここでは財政のことが書かれているから、もうちょっと詳しく見てみようという方もおられると思うので、やっぱり呼び水という意味でも質問と答弁は全ての議員のものを少なくとも1つは掲載するようにしたほうがよいのではないかなと。紙面で今まで掲載していたものをもっと縮めるということになると、さすがに無理があると思うので、やっぱり2ページ増やして掲載するという方法で、そこに二次元コードをつけるかどうかというのはまた別の

議論になると思います。二次元コードをつけることには賛成である。

(委員長) いろいろ意見が出たので、1回持ち帰らないといけないと思うが、もし、2項目を掲載するのではなく二次元コードで要約を見ることができるようにするのなら、皆さんがその作成をしていただかないといけないことになる。それも全項目掲載するのだろうか。

(委員) 意見がいろいろあるので、ちょっと整理しないと。ページ数を増やすか、今のままかだけでも決めないと進まないと思う。二次元コードについても持ち帰らないとここでいいということはいえない。

(委員長) 2ページ増やすというのは1年間で4回であるか。4回で30万円ということか。

(議事課長) 年間の予算について説明する。令和6年度で今の通常のページ数で今年度予算を取っているのが169万5千円であり、約170万円が現在のページ数での発行経費として予算を計上している。それに加えて定例会ごとにプラス2ページ、そのため年間で8ページ増になった場合には、さきほど申し上げた約30万円がプラスになるので、今現在170万円程のものが、200万円程の発行経費、印刷製本費がかかることになる。

(委員長) いろいろ経費も使わなかったりするんで、それをかき集めたら30万円くらいはどうかという気もするが。

(委員) まずはページ数を増やすか増やさないか決めて、しつこいようだけど年間30万円、さっきも言ったけど昨年度200万円を超えて議会は予算削減に協力したということも考えてどうしたらよいかということ。

(委員) 30万円増えるということだが、今経費節減で行っている時代に170万円に30万円足すよというのは説明がつかないと思う。それよりもっといい方法が皆で話をしている二次元コードが出てきている。予算を増やしていくのはいかなものかと、予算を削減したからその分使えるという議論はなしだと思う。

(委員) この30万円が誰のためのものか、議員のための30万円なのか、それとも市民のための30万円なのかということを見ると、市民が議会のことを知る権利として30万円の予算をプラスするということは私は無駄使いではないと思う。

(委員) いずれにしても2ページ増やすということに対しての議論は会派内でできていないので持ち帰らせていただきたい。

(委員長) いろいろ意見を出していただいたが、2ページ増やすかどうか、30万円についてどうか、二次元コードについてどういうふうにしていくか。今の時点ではホームページを見たら議員の質問と答弁はわかるが、それをそのままリンクさせるのか、それともそれを要約するのかということもまた会派内で議論していただきたいと思います。

(委員) 確認だが、2ページ増やすというのは30分以上は2項目、20分以下は1項目ということで2ページ増やすということか。

(議事課長) 項目数については30分以上は2項目、30分未満は1項目とし、さらに字数についても調整が必要かと思う。今と同じ字数でいくと収まりきらない場合も出てくるかと思う。それは試しに編集もさせていただき、ただ、プラス4ページということはまず難しいかと思うので、今

2 ページということで試算の金額を申し上げた。

(委員長) 一応増やす場合は2 ページということでお願いしたいと思う。それでよろしいか。

[全員了承]

(委員長) 次回の委員会では、いろいろ意見が出たので一旦持ち帰って再度ご協議いただきたいと思う。次回の委員会では本日出た意見をもとにご協議いただきたい。事前に本日の意見をまとめたものを配付するので、会派内で協議をしておかれない。また、議員定数及び議員報酬についても協議をするので、よろしく願います。